



『男性・女性の パートナーシップ』



2月15日（土）の午後から、西条市総合福祉センター3F研修室で、午前中新居浜の科学博物館でのトークショーを終えたFJ（ファザーリング・ジャパン）徳倉事務局長の講演とワークショップを開催しました。

主催：西条市男女共同参画推進会議



前半1時間は、徳倉講師の講演。

香川県高松市ご出身の徳倉講師は、埼玉県の男女共同参画推進委員や内閣府の男女共同参画推進連携会議議員に就任されている、「男女共同参画」に精通された30代です。

考え方・働き方・仕事・生き方までが大きく変わったその理由をお話してくださいました。



「なぜ今、イクメン・イクジイなの?」「子どものいない人には関係ないんじゃないの・・・?」



安倍首相は女性が働く必要性を「アベノミクス」に盛り込みました。
「女性の活用」と言われても、ピンとこない・・・という人がいるかもしれません。

けれど、自分の仕事に、やりがいや社会的責任を感じて頑張っている、
または、働きたいと思っている女性が、働くことを選択できる社会に早急にする必要があります。

それは同時に、男の人も、「男性は組織を率い、稼ぐべきだ」という、固定観念に縛られず、
自由な働き方の選択ができる社会でもあります。

私たちが、男女が平等な（選択ができる）社会を実現するためにはまず・・・



- ① 家庭では、夫婦で家事を平等に分担すること。
日本では、女性が家事・育児にかかる時間が男性の5倍という結果が出ています。
これは経済協力開発機構（OECD）加盟国中で最低レベルです・・・。
男性が夕食を作ったり、おむつを替えたりするのが当たり前になると、社会に本当の変化が起きます。
- ② 企業は、女性が働きやすいように運営方針を変えること。
出産後に職場に復帰しやすい環境を整えること。
さらに、日本で重要な課題は、**長時間勤務を見直すこと**です。



家事や子育てをした男性は、いろいろな細かいことにも気が付くため、仕事も介護もできますよ！

後半1時間は、講師と西条市男女共同参画会議委員・参加者でのワークショップ。
高橋会長が司会で、委員や参加者から講師への疑問・質問や思ったことを話し合いました。

「選べる自由のある社会が私たちの望む社会です。その為には、市民が声をあげていかなければいけません。みんなで、声をあげていきましょう。」という、会長からのまとめで、閉会しました。

*** 男女共同参画にご興味・疑問があるもっとたくさんの方に聞いていただきたいお話でした。***